

2013 印刷・情報記録・表示シンポジウム

「フレキシブルデバイス用材料の現状と課題を語る —酸化物半導体 vs. 有機半導体—

＜趣旨＞ディスプレイデバイスの次の大きな展開の Keyword は「フレキシブル」にあります。落としても壊れず、軽く、薄く、技術革新により低コスト化も期待できるディスプレイの誕生です。4K,8K への高精細化、多色化、高艶色化、3D 化に加え、将来の電流駆動型有機 EL ディスプレイへの展開を踏まえると、要となるトランジスタ材料には、 $10\text{cm}^2/\text{Vs}$ を超える高い移動度が求められます。これに加え、プロセス適性、特に、低温化、低コスト、高スループットプロセスを適える材料が不可欠です。この 10 年余りの間、高移動度材料を求めて、Si 系薄膜材料の製膜技術を含めて広範な研究が展開され、酸化物半導体が見直され多結晶薄膜を用いた TFT の実用化が開始されました。

この間、有機半導体においても FET 応用が提案され、電子ペーパーへの応用が始まりました。最近になって、溶液プロセスにより作製された有機半導体系 FET においても $10\text{cm}^2/\text{Vs}$ を超える移動度が報告され始め、高移動度に関する限り、今や、無機半導体の独壇場ではなくなりました。このシンポジウムでは、フレキシブルデバイスへの展開を踏まえ、酸化物半導体および有機半導体の分野を先導する講師の方々に薄膜トランジスタ用半導体材料の現状と課題についてご講演いただきます。さらに、パネルディスカッションにより、講師の方々にもご参加いただき、いっそう議論を深めたいと思います。酸化物半導体 vs 有機半導体の熱い議論に奮ってご参加ください。

主催 高分子学会 印刷・情報記録・表示研究会

協賛 (予定) 日本化学会, 応用物理学会, 日本印刷学会, 紙パルプ技術協会, 日本木材学会

日時 8月30日(金) 10:00~17:15

会場 (独)産業技術総合研究所 臨海副都心センター別館 11 階 会議室 1
(東京都江東区青海 2-4-7 TEL: 03-3599-8001)

交通 新交通ゆりかもめ「船の科学館駅」「テレコムセンター駅」下車 徒歩 4 分

プログラム

＜10:00~11:00＞

1. 酸化物半導体のフレキシブル応用の現状と課題 (東工大総理工) 神谷 利夫

＜11:00~12:00＞

2. 有機半導体薄膜単結晶とデバイス応用 (東大新領域) 竹谷 純一

＜13:00~14:00＞

3. 塗布型シリコン材料と酸化物材料の現状と課題 (北陸先端大) 下田 達也

＜14:00~15:00＞

4. 印刷型有機トランジスタの高性能化とフレキシブル集積回路応用 (山形大有エシ研セ) 時任 静士

＜15:15~16:15＞

5. フレキシブルディスプレイ駆動応用に向けた TFT バックプレーンの開発 (NHK 放送技研) 藤崎 好英

＜16:15~17:15＞

6. パネルディスカッション 酸化物半導体 vs. 有機半導体 パネリスト (東工大像情報) 半那 純一

参加要領

1) 定員 100 名

2) 参加費 ①企業 13,650 円 ②大学・官公庁 5,250 円 ③学生 2,100 円

④名誉・終身・フェロー・ゴールド・シニア会員 2,100 円

(印刷・情報記録・表示研究会メンバー a) 企業 10,050 円 b) 大学・官公庁 4,2000 円)

3) 申込方法 高分子学会ホームページ (<http://www.spsj.or.jp/entry/>) からお申込みください。

参加証、請求書(希望者のみ)を送付いたします。

参加費は、8 月末日までにお振込みをお願いいたします。

4) 振込先 銀行振込<三菱東京 UFJ 銀行 銀座支店(普通) 1126232 名義 高分子学会>

郵便振替<00110-6-111688 名義 高分子学会>

6) その他 演題・講演者は予告なく変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

問合せ先 〒104-0042 東京都中央区入船 3-10-9 新富町ビル

高分子学会 2013 印刷・情報記録・表示研究会シンポジウム係

TEL 03-5540-3770 FAX 03-5540-3737

行事参加申込 QR コード

<http://www.spsj.or.jp/entry/>

